

※本文書は仮訳につき、正確な内容につきましては原文をご参照下さい。
(<http://www.developpement-durable.gouv.fr/IMG/pdf/CP-05-10-11.pdf>)

エコロジー・持続可能開発・国土整備省大臣室

パリ、2011年10月5日(水)

PRESS RELEASE

環境ラベル製品の実験：
評価の主要な段階

2011年7月1日より、企業が顧客に対して環境性能の表示を行うテストの全国的な実験が開始されている。店頭やインターネットで販売されている数百の製品について気候、水、大気、また生物多様性に対する詳細な環境影響を示すラベルがつけられている。

環境性能表示の目的は二つ

- ・ 消費者が環境性能の評価を行い、消費の選択をすることを助け、工業製品か農作物かを問わず全ての製品において環境への意識を高める。
- ・ 企業に製品の環境性能の改善を図る機会を与える。環境表示が競争の要因となる。

環境表示により、我々は国民に責任ある消費のキーを与えている。

これは、“購買力”とは別の一面（エネルギーや水、包装をより効率的に使う製品を選ぶ能力）となる。

購買行動は中立ではなく、持続可能な消費は、消費、成長、進歩に新しい意味を与えることができる。”と Nathalie KOSCIUSKO-MORIZET（注：エコロジー・持続可能開発・国土整備大臣）は言った。

この複数の指標や製品、複数の媒体（ラベル添付やインターネット上における表示、携帯電話のアプリケーション、売り場での表示などの複数サポート）による表示は、世界初であり、2013年はじめの実験結果報告を議会で確認した後に、表示の普及が検討される

エコロジー・持続可能開発・国土整備省・246、サンジェルマン通り・75007 パリ
www.developpement-durable.gouv.fr

※本文書は仮訳につき、正確な内容につきましては原文をご参照下さい。

(<http://www.developpement-durable.gouv.fr/IMG/pdf/CP-05-10-11.pdf>)

この表示の普及と持続化の機会を測る評価はいくつかの補完的なアクションに基づく：

- ・ 表示のコストや技術的実現可能性に関する企業からのフィードバック。共通の質問表が年末までに実験に参加した企業に送信され、それぞれの企業により独自に評価されます。
- ・ 競争・消費・詐欺防止総局（DGCCRF）による試験的アンケートの実施。国家的な実験はDGCCRFによる将来のコントロールの実現性をテストするための機会（操作方法のサンプルの文書チェックなども含む）となる。これらのテストを実施するためには、関係する調査員は事前に持続可能な開発省の共催のトレーニングを受ける。
- ・ 消費者保護団体からの意見

7つの消費者保護団体^{注1}がこの評価に貢献するために行動を共にしている。彼らは、地域で行われる説明会において、表示や情報が注意を引いたかに関する消費者意見を集めるアンケートを作成した。彼らは公式提言を実験終了後に大臣に行く。

同時に、Nathalie KOSCIUSKO-MORIZET、エコロジー・持続可能開発・国土整備大臣は、消費者のラベルと採用する方法に対する理解をテストする為、本日、公式協議サイトを立ち上げる。

<http://www.consultations-publiques.developpement-durable.gouv.fr/>

いくつかの質問については、ユーザーがコメントすることができる。

- ・ より明確で、理解可能なラベルのデザイン
- ・ ラベルを見つけたいと思う人のためのサポート
- ・ 彼らにとってより重要な環境指標
- ・ 環境指標があったらよいと思う製品群

（本サイトの）2分の1は教育学的なクイズによるもので、ラベルやその性質、目的に対する認知度を深め、また異なる製品の環境影響についての情報を与える目的で設置されている。

この公開協議は、実験の最後まで開催される予定である。

注1. 防衛教育協会、消費者情報協会、消費者と消費者研究学会 CFDT、ファミリー協会の全国連盟、フランスのカトリックの家族同盟、農村の家族と家族協会の全国連合。

お問い合わせ先：

Anne Dorsemaine（アンヌ ドルスメーヌ）01 40 81 72 36

Aurore Longuet（オーロル ロンゲ）01 40 81 31 59